

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 12 日

事務事業名		公民館読み聞かせ事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	020201000619
							単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け							課長名	生涯学習課
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進							グループ	生涯学習G
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり							担当者名	
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進								
手段名		O1 ①自主的な活動の支援と学習機会の提供								
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)	
	01	10	06	02	03	00	公民館管理事業 (大)		☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
公民館において、ポスターを製作し、保育所・幼稚園児・小学校1~2年生に配布、読み聞かせボランティアが月1回実施している。 ・日程 月1回第4土曜日 午後2時~3時30分 ・内容 絵本の読み聞かせ・紙芝居・ゲーム等	・「おはなしのひろば」「おはなしの小箱」「読み聞かせの会たんぽぽ」の原稿作成 ・ポスター(チラシ)の印刷、各小中学校への配布、館内掲示 ・アンケートの集計 ・報償費(謝礼)の支払(各読み聞かせボランティア団体へ年間2万円)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
云 場：石瀬公民館・入和公民館 実施日：毎月第4土曜日午後2時~午後3時30分 会 場：真壁伝承館 実施日：毎月第4土曜日午前11時~午前11時30分 内 容：絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊び等	実施回数	回	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
岩瀬・大和・真壁地区の幼児・小学校低学年児童	保育所・幼稚園児数	人	1,032.00	1,023.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	小学校低学年児童数	人	611.00	599.00	547.00	600.00	600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
本に親しむきっかけとなり、本を通して親子のふれあい、地域との交流が図られる	「本に親しむきっかけ」と答えた率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	参加者数 (保護者+幼児・児童)	人	555.00	449.00	250.00	500.00	500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	
			一般財源	千円	60	60	60	
			事業費計 (A)	千円	60	60	60	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

01年度事業費 実績 (千円)

02年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	60		19 負担金補助及び交付金	60	
		合 計	60		合 計	60

事務事業名	公民館読み聞かせ事業	事務事業No.	20201000619	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
子どもたちの活字離れが叫ばれ始め、本に親しみを持ってもらうために始めた。保護者及び子どもたちも、参加する意欲が出てきているし、読書が好きになってきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
月に1回の読み聞かせを楽しみにしている。また、子どもの親同士のコミュニケーションを図ることができる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 政策体系の豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくりに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 本を読む人口が増え、読書推進につながる
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現状で幼児から小学校低学年児童まで対象として実施しているが、月1回程度の実施であり、回数を増やすことで参加者が増える可能性はある。ただし、読み聞かせボランティアの団体・人数を考慮すると、現状ではすぐに増やすことは難しい。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子どもたちの本に対する興味が希薄となる。また、地域と子ども達との交流機会がなくなる。	
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はあるが、読み聞かせを主としての活動はないため、統廃合や連携は難しい。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 年間の活動内容に対して最低限度の予算(1団体当たり2万円の謝礼)で実施しており、削減余地はない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 旧3町村の施設でそれぞれ開催しており、各地域の児童生徒が参加できるよう配慮して実施しているため公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	乳幼児が本への興味を示すように、今後もボランティアの方々の協力を得ながら継続をしていく。現在、スキルアップ朗読講座等の実施により朗読ボランティアの育成を図っており、講座受講生が読み聞かせに参加するなどにより実施回数を増やせる可能性はある。令和元年度は新型コロナウイルスの影響により3月の実施を見送った。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○				X	X	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
		X	X	X																						
		X	X	X																						
朗読講座等の受講者等による朗読ボランティア育成が進むことにより、読み聞かせの回数を向上させる余地が出てくると考えられる。 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により少なくとも前半は開催が危ぶまれる状況である。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>